	シラバス						
				科目の基礎情報①			
		(全羽	利日夕	村日の基礎情報は	Web制作演 <sup>i</sup>	羽内田 / 1	
		演習	科目名				
	必修選択 —————	選択	(学則表記)		Web制作演 <sup>3</sup>		n+ 00 W
	<i>- x x x x x x x x x x</i>	-,	開講		1761	単位数	時間数
	年次 ————————————————————————————————————	2年	学科	WEBデザイン・		1	30
	使用教材	ほんの一手間で原 実践講座 動くWebデザイン		ML & CSSとWebデザイン	出版社	SBクリエイティブ ソシム	
				科目の基礎情報②			
授	業のねらい	1年次に学んだH <sup>®</sup> る	TMLとCSSの基礎	礎をもとに、WEBデザイナ	ーとして実践的	な表現方法とコーデ	ィングを身につけ
	この授業の目標は、1年次で学んだHTMLとCSSの基礎を活かしながら、将来Webデザイナーとして活躍するためで実践的なスキルを身につけることです。具体的には以下の点を重点的に学びます。 1. レスポンシブデザイン: 知識を使い、異なるデバイスや画面に合わせて適応するWebデザイン制作を学びます。 2. アクセシビリティ向上: Webコンテンツのアクセシビリティを高めるためのテクニックやガイドラインについて学びます。 3. エフェクトとアニメーション: ユーザーエクスペリエンスを向上させるためのエフェクトやアニメーションを実装する方法について学びます。			制作を学びます。 ドラインについて			
	評価基準	テスト:10% 小	テスト:30%	是出物:40%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以_		ある者			
	関連資格						
	関連科目	Web制作演習応用	∄A II				
	備考	原則、この科目に	は対面授業形式に	こて実施する。			
	担当教員	伊庭 則明			実	<b>医務経験</b>	0
	実務内容	マルチメディアコ	コンテンツ制作会	≷社でマルチメディアクリェ	ニイターとして勤	か務、その後フリーラ	・ンスに。
	習熟状況等により授業の展開が変わることがあります						
回数		単元		各回の展開	 内容		
1			図谷 Web制作演習応用AⅠ授業の目的や要点と全体の流れの説明				
2	HTMLとCSSのま	お浚い-1	HTMLの基礎のお浚い				
3	HTMLとCSSのお浚い-2		CSSの基礎のお浚い-1				

HTMLとCSSのお浚い-3

CSSの基礎のお浚い-2

5	LPページ制作-1(レスポンシブ)	LP(ランディングページ)を制作しながら、シングルカラムページ制作について学ぶ
6	LPページ制作-2(レスポンシブ)	LP(ランディングページ)を制作しながら、効果的な背景とフォントについて学ぶ
7	LPページ制作-3(レスポンシブ)	LP(ランディングページ)を制作しながら、レスポンシブデザイン(スマホ向け)について学ぶ-1
8	LPページ制作-4(レスポンシブ)、 小テスト	LP(ランディングページ)を制作しながら、レスポンシブデザイン(スマホ向け)について学ぶ-2 小テスト
9	CSS表現テクニック-1	CSSで画像とテキストを互い違いに表示させる方法を学ぶ
10	CSS表現テクニック-2	CSSでページ内の動きに変化させる方法を学ぶ
11	CSS表現テクニック-3	CSSのプレンドモードで画像とテキストの色味を変える方法を学ぶ-1
12	CSS表現テクニック-4、 小テスト	CSSのプレンドモードで画像とテキストの色味を変える方法を学ぶ-2 小テスト
13	CSSアニメーション基礎-1	動くWebデザインの基礎知識、jQueryの基本とCSSアニメーションの基本とスライドショー
14	振り返り	Web制作演習応用AIの総括として確認を行う
15	総まとめ	前期のまとめ

## シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 Web制作演習応用AII Web制作演習応用AII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 動くWebデザイン アイディア帳 ソシム 使用教材 出版社 動くWebデザイン アイディア帳 実践編 ソシム 科目の基礎情報② 2年前期に学んだWebデザインの表現方法の応用と、より高度なコーディングを身につける。 様々な業種を想定した、より実践的なWebサイトを制作する。 授業のねらい 1年次制作したポートフォリオサイトに作品を掲載する。 到達目標 Webサイトの印象を決定付ける動き身につける。 評価基準 テスト:310% 小テスト:30% 提出物:40% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 Web制作演習応用A I 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 伊庭 則明 実務経験 $\bigcirc$ 実務内容 マルチメディアコンテンツ制作会社でマルチメディアクリエイターとして勤務、その後フリーランスに。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 Web制作演習応用A II 授業の目的や要点と全体の流れの説明 オリエンテーション グローバルナビゲーション、ハンバーガーメニュー制作-1 Webデザイン表現テクニック応用-1 グローバルナビゲーション、ハンバーガーメニュー制作-2 Webデザイン表現テクニック応用-2 Webデザイン表現テクニック応用-3 動くWebデザインの基礎知識、実現する仕組みと準備

Webデザイン表現テクニック応用-4

基本的な動きの表現方法

5

小テスト

6	Webサイト制作-1	企業や飲食店などのWebサイトを制作するための企画立案、目的と目標の設定、ラフデザイン作成
7	Webサイト制作-2	ワイヤーフレーム作成、Webデザイン制作
8	Webサイト制作-3	Webデザインのプロトタイプを基に、トップページのコーディング-1
9	Webサイト制作-4	Webデザインのプロトタイプを基に、トップページのコーディング-2
10	Webサイト制作-5	Webデザインのプロトタイプを基に、トップページのコーディング-3
11	Webサイト制作-6	Webデザインのプロトタイプを基に、サブページのコーディング-1
12	Webサイト制作-7	Webデザインのプロトタイプを基に、サブページのコーディング-2
13	Webサイト制作-8	Webデザインのプロトタイプを基に、サブページのコーディング-3
14	プレゼンテーション	完成したWebサイトのプレゼンテーションを行う
15	総まとめ	前期・後期の振り返り

	シラバス						
	科目の基礎情報①						
		演習	科目名	TILOSEALISTAS	Web制作演		
		選択	(学則表記)	Web制作演習応用B I			
		~= " \	開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	30
	使用教材	1冊ですべて身に <sup>*</sup> 1週間でPHPの基础		入門講座	出版社	SBクリエイティブ インプレス	
				科目の基礎情報②			
授	業のねらい			tWordPressを用いたWebベ Dカスタマイズの方法を知る		\$°,	
	<b>到達目標</b>	WordPressを利用 PHPの基礎を身に		<sup>ジ</sup> の制作を身につける。			
	評価基準	テスト:30% 小ラ	-スト:30% 提	出物:40%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上		うる者			
	関連資格						
	関連科目	Web制作演習応用	BII				
	備考	原則、この科目は	対面授業形式に	こて実施する。			
	担当教員	伊庭 則明	実		<b>ミ務経験</b>	0	
	実務内容	マルチメディアコ	 ンテンツ制作 <i>会</i>	☆社でマルチメディアクリエ	 -イターとして勤	 助務、その後フリーラ	ンスに。
				各回の展開	習熟状況等に	より授業の展開が変え	わることがあります
回数	È	単元		ロログ版制	内容		
1	1 オリエンテーション		Web制作演習応用BI授業の目的や要点と全体の流れの説明				
2	2 WordPressの基本知識-1		WebサイトとWordPressの基礎知識を学ぶ				
3	3 WordPressの基本知識-2		WordPressを使うための基礎知識を学ぶ				
4	PHPの基礎-1		プログラミングとは何か、PHPの基本を学ぶ				
5	PHPの基礎-2		変数、条件分岐、	HTMLのリストとリンクを学ぶ			

6	PHPの基礎-3 小テスト	繰り返し処理、配列、HTMLのテーブル、関数を学ぶ
7	サーバーへWordPressインストール	サーバーのコントロールパネル操作とWordPressのインストール方法を学ぶ
8	WordPressの基本操作	WordPressの管理画面の基本操作を学ぶ
9	WordPressを使ったWebページ制作-1	WordPressを用いたWebページへの記事の投稿のやリンク、画像の挿入方法などを学ぶ
10	WordPressを使ったWebページ制作-2	WordPressを用いたWebページへのブロックの設定、固定ページの作り方などを学ぶ
11	WordPressを使ったWebページ制作-3	WordPressを用いたWebページテーマのカスタマイズ方法を学ぶ-1
12	WordPressを使ったWebページ制作-4	WordPressを用いたWebページテーマのカスタマイズ方法を学ぶ-2
13	WordPressを使ったWebベージ制作-5	WordPressを用いたWebページテーマのカスタマイズ方法を学ぶ-3
14	WordPressを使ったWebページ制作-6 プレゼンテーション	WordPressを用いたWebページにお問い合わせフォーム設置方法などを学ぶ 完成したWebページのプレゼンテーションを行う
15	WordPressを使ったWebページ制作-7 総まとめ	WordPressのオリジナルテーマの作り方の基礎を学ぶ 前期の振り返りを行う

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 Web制作演習応用BII 演習 科目名 Web制作演習応用BII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 WEBデザイン・IT科 2年 学科 1 30 使用教材 WordPressオリジナルテーマ制作入門 出版社 技術評論社 科目の基礎情報② 前期に学んだプログラムスキルのPHP基礎とWordPressの基礎を踏まえ、さらなるスキルアップを目指し、 授業のねらい WordPressにてオリジナルテーマを使ったWebページを制作する。 WordPress操作の応用を身につけWordPressを用いたWebページを制作する。 到達目標 PHPの基礎を身につけ、WordPressのカスタマイズ方法を学ぶ。 評価基準 テスト:30% 小テスト:30% 提出物:40% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 Web制作演習応用B I 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 伊庭 則明 実務経験 $\bigcirc$ 実務内容 マルチメディアコンテンツ制作会社でマルチメディアクリエイターとして勤務、その後フリーランスに。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開

		行四の成用
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	Web制作演習応用B II 授業の目的や要点と全体の流れの説明
2	WordPress操作のお浚い-1	サーバーへのインストール方法、WordPressの基本操作のお浚い
3	WordPress操作のお浚い-2	WordPressの管理画面操作、固定ページ編集方法のお浚い
4	WordPressのオリジナルテーマ制作-1	WordPressのテーマ作成に必要な基礎知識を学ぶ
5	WordPressのオリジナルテーマ制作-2	WordPressのオリジナルテーマの開発環境を準備する方法を学ぶ-1
6	WordPressのオリジナルテーマ制作-3	WordPressのオリジナルテーマの開発環境を準備する方法を学ぶ-2

7	WordPressのオリジナルテーマ制作-4	WordPressの最小のテーマを作成しWordPressに認識させる方法を学ぶ
8	WordPressのオリジナルテーマ制作-5	WordPressの基本となるテンプレートファイルの制作方法を学ぶ-1
9	WordPressのオリジナルテーマ制作-6	WordPressの基本となるテンプレートファイルの制作方法を学ぶ-2
10	WordPressのオリジナルテーマ制作-7	WordPressのテーマの利便性を向上させる方法を学ぶ
11	WordPressのオリジナルテーマ制作-8	WordPressのテーマをブロックエディターに対応させる方法を学ぶ-1
12	WordPressのオリジナルテーマ制作-9	WordPressのテーマをブロックエディターに対応させる方法を学ぶ-2
13	プレゼンテーション	完成したWebページのプレゼンテーションを行う
14	プレゼンテーション	Webページの修正を行う
15	総まとめ	前期・後期の振り返り

### シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 グラフィック演習応用AI グラフィック演習応用AI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 出版社 使用教材 改訂2版 知識0からはじめるPremiere Proの教科書CC対応 ソシム 科目の基礎情報② 授業のねらい 基本的な動画編集技術を身につける 到達目標 Premiere Proの基本的な操作から、編集、書き出しまでできるようになる 評価基準 テスト40%、提出物40%、授業態度20% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 グラフィック演習応用BI、総合演習AI、BI、CI、AII、BII、CII 備考 原則、この授業は対面授業にて実施する 屋敷 由紀代 担当教員 実務経験 $\bigcirc$ システム会社(ビジネスブレーン)にてSEとして9年勤務 実務内容 介護福祉会社(ビオネスト)のシステム部にて社内SEとして5年勤務 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 単元 回数 内容 1 初回ガイダンス 授業の目的、到達目標など、はじめてのPremiere Pro Premiere Proの設定、画面レイアウト、基本操作 映像編集の進備と基本の操作

 回数
 単元
 内容

 1
 初回ガイダンス
 授業の目的、到達目標など、はじめてのPremiere Pro

 2
 映像編集の準備と基本の操作
 Premiere Proの設定、画面レイアウト、基本操作

 3
 カット編集をマスターする
 基本のカット操作から編集

 4
 ベーシックな機能で映像作品を作る
 BGM、タイトル

 5
 シーンの切り替え、書き出し

 6
 静止画の効果、動くタイトル

 7
 Adobe Stockのテンプレート、映像の色調補正

8	映像作品のクオリオティをアップする	インサート編集、アニメーション切り替え、色補正
9	吹吹作曲のフォッカナイをナブノリる	音量調整、音のパランス
10	知っておきたい映像編集テクニック	マルチカメラ編集、スイッチング
11		早送り、静止画として書き出し
12	アーティスティックな映像表現をマス	ロゴが動くアニメーション、丸いワイプ
13	ターする	モザイクやぼかし、グリーンバック合成
14	実技テスト	配布素材を使用し、動画編集を行う
15	映像データに関する知識	ファイルの収集、書き出し設定

## シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 グラフィック演習応用AII グラフィック演習応用AII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 トレース&模写で学ぶデザインのドリル 使用教材 ソシム 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい デザイナーのトレースや模写を通して「理由」や「意図」を理解し、デザインの細部に気づく力を身につける デザイナーが作ったデザインレイアウトの反復練習を行ったのち、自身の作品において意味のあるレイアウトが組 到達目標 める 評価基準 自由作品(作品30%+発表20%)、提出物30%、授業態度20% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 グラフィック演習応用BII 備考 原則、この授業は対面授業にて実施する 屋敷 由紀代 担当教員 実務経験 $\bigcirc$ システム会社(ビジネスブレーン)にてSEとして9年勤務 実務内容 介護福祉会社(ビオネスト)のシステム部にて社内SEとして5年勤務 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開			
回数	単元	内容		
1	構成(初級)	写真展のチラシ、不動産会社のチラシ、キャンペーンのDM		
2	構成(初級)	結婚式の招待状、ドーナッツ屋のポスター、観葉植物専門店のDM		
3	色	美容クリニックのバナー、バレンタインのポスター、フリーマーケットのチラシ		
4	色	スイーツショップの店頭POP、眼鏡店のショップカード、スキンケア用品の店頭POP		
5	文字	セール告知のDM、イベントのチラシ、キャンペーンのバナー		
6	文字	レストランのロゴ、キャンペーンのロゴ、パン屋のポスター		

7	文字、写真	飲料メーカーのポスター、桜祭りのチラシ、フリーマガジンの表紙
8	写真	旅行代理店のポスター、スイーツ店のチラシ、カフェ新規開店のDM、
9	写真、構成(上級)	日本茶専門店のショップカード、ヘアサロンのDM、雑誌の特集記事
10	構成(上級)	映画のチラシ、レストランのメニュー、ヨガ教室のチラシ
11	自由課題制作	
12	自由課題制作	テーマは自由課題、規定課題、どちらか選択して制作
13	自由課題制作	
14		評価をお互いにできるよう、評価項目を決め、各自に書いてもらい提出する
15	発表、まとめ	BI IMICもないたくでもあり、計画名目を次め、昔日に言いてもらい近山する

## シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 グラフィック演習応用BI グラフィック演習応用BI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 学科 WEBデザイン・IT科 30 年次 2年 1 スマホ1つで、撮れる世界は無限大 ぜんぶ教えます! ぞの 使用教材 KADOKAWA 出版社 さんっ動画術 科目の基礎情報② 授業のねらい 撮影から編集まで、一つの作品として動画を完成させることができる 到達目標 コンセプトに合わせた撮影ができ、動画を編集し発表する 評価基準 グループ作品(作品20%+発表10%)、個人作品(作品30%+発表20%)、授業態度20% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 グラフィック演習応用AI、総合演習AI、BI、CI、AII、BII、CII 備考 原則、この授業は対面授業にて実施する 屋敷 由紀代 担当教員 実務経験 0 システム会社(ビジネスブレーン)にてSEとして9年勤務 実務内容 介護福祉会社(ビオネスト)のシステム部にて社内SEとして5年勤務 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	初めての撮影	教科書に出てくる動画術をグループ(4、5人程度)で撮影(時間があれば編集まで)	
2	野外撮影	教科書に出てくる動画術をグループ(4、5人程度)で撮影(時間があれば編集まで)	
3	発表	1グループ5~8分程度で、撮った動画をグループごとに発表し意見交換	
4	グループワーク制作企画	動画のコンセプト、構成などプランニングを考える	
5	グループワーク制作撮影	プランニングに合わせて撮影	
6	制作	編集作業	

7	制作	編集作業、プレゼン資料準備
8	発表	1 グループ5~8 分程度で発表
9	個別課題制作企画	動画のコンセプト、構成などプランニングを考える
10	個別課題制作撮影	プランニングに合わせ撮影
11	制作	編集作業
12	制作	編集作業
13	制作、プレゼン準備	編集作業、プレゼン資料準備
14	発表	一人 5 ~ 8 分程度で発表、評価をお互いにできるよう、評価項目を決め、各自に書いてもらい提出する
15	発表、まとめ	一人 5~8分程度で発表、まとめ

## シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 グラフィック演習応用BII グラフィック演習応用BII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 WEBデザイン・IT科ミリョクまるわかりBOOK SCHOOL 使用教材 出版社 GUIDE 2024 科目の基礎情報② 授業のねらい パンフレットなど、ページ物印刷の制作技術を身につける WEBデザイン・IT科ミリョクまるわかりBOOK SCHOOL GUIDE 2024を教科書とし、新しい提案を入れたパンフ 到達目標 レットをグループで制作し、発表する 評価基準 グループ作品(作品50%+発表30%)、授業態度20% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 グラフィック演習応用AII 備考 原則、この授業は対面授業にて実施する 屋敷 由紀代 担当教員 実務経験 $\bigcirc$ システム会社(ビジネスブレーン)にてSEとして9年勤務 実務内容 介護福祉会社(ビオネスト)のシステム部にて社内SEとして5年勤務 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	現パンフレット考察	現在のパンフレットを読み込み、内容、レイアウト、デザインなど良い点、足りない点を洗い出す				
2	コンセプト、企画	現パンフレットをふまえ、自分たちが思う新しいパンフレットを考え、次回まとめて発表				
3	新企画について各グループ発表	まとめたものを各グループ10分以内で発表、講師、及び他グループからも意見を出し合う				
4	企画・撮影	制作に向けて、構成、原稿、撮影など必要に応じて手分けして実施				
5	企画・撮影					
6	レイアウト、構成案	具体的な全ページのレイアウトを決定する				
7	レイアウト、構成案	会性的な主、 ノッドリノー と八たする				

8	制作		
9	制作		
10	制作	各グループごとに、手分けして制作に入る	
11	制作		
12	制作		
13	発表最終準備	見本のプリントアウト、プレゼン資料、発表内容など最終確認する	
14	発表	各グループ10分程度で発表、講師、及び他グループからも総評	
15	発表、総まとめ	Tログル グエリガ社及で元次、時別、次UIEグル グガジロ心部	

	シラバス						
				科目の基礎情報①			
	授業形態	実技	科目名		卒業制作	ΑΙ	
	必修選択	必修	(学則表記)		卒業制作	ΑΙ	
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	30
	使用教材	なし			出版社	-	_
	科目の基礎情報② 						
授	業のねらい	2年間の集大成と7	なる作品を制作	することを通し、これまで	に学んだ知識や技	術を実践すること	ができる。
・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる 到達目標 ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る							
	評価基準	提出物・制作物:	60% 授業態度	复:40%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上		5る者			
	関連資格						
	関連科目						
	備考	原則、この科目は	対面授業形式ま	たは同時双方向型遠隔授業	形式にて実施する	<b>5</b> 。	
;	担当教員	伊庭 則明			実務経験		0
	実務内容	マルチメディアコ	コンテンツ制作会社でマルチメディアクリエイターとして勤務、その後フリーランスに。				
				6 - 1 - 100	習熟状況等によ	り授業の展開が変わ	わることがあります
回数	ì	 単元	<b>各回の展開</b> 内容				
1 オリエンテーション		授業の目的・概要説明					
2	2 テーマ設定		制作テーマ・制作概要の設定				
3	3 テーマ設定		制作テーマ・制作概要の設定				
4	4 テーマ設定		制作テーマ・制作概要の設定				
5	計画策定		制作スケジュー	ール・制作工程の決定			
6	計画策定		制作スケジュー	-ル・制作工程の決定			

7	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
8	素材集め	制作に必要な素材を集める
9	素材集め	制作に必要な素材を集める
10	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
11	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
12	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
13	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
14	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
15	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める

	シラバス							
				科目の基礎情報①				
	授業形態	実技	科目名		卒業制作	A II		
	必修選択	選択	(学則表記)		卒業制作	A II		
			開講			単位数	時間数	
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	30	
	使用教材	なし			出版社	-	_	
				科目の基礎情報②				
授	業のねらい	2年間の集大成と7	なる作品を制作	することを通し、これまでい	に学んだ知識や技	術を実践すること	ができる。	
・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる 到達目標 ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る								
	評価基準	提出物・制作物:	60% 授業態度	复:40%				
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上		うる者				
	関連資格							
	関連科目							
	備考	原則、この科目は	対面授業形式ま	たは同時双方向型遠隔授業	形式にて実施する	3.		
:	担当教員	伊庭 則明			実務	务経験	0	
	実務内容	マルチメディアコ	コンテンツ制作会社でマルチメディアクリエイターとして勤務、その後フリーランスに。					
					習熟状況等によ	り授業の展開が変わ	わることがあります	
				各回の展開	<b>+ -</b>			
回数	<u> </u>	単元	内容					
1 振り返りと修正		中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する						
2 振り返りと修正		中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する						
3 作品制作		修正後のスケジュールを基に制作を進める						
4 作品制作		修正後のスケジュールを基に制作を進める						
5	作品制作		修正後のスケシ	修正後のスケジュールを基に制作を進める				
6	作品制作		修正後のスケシ	ケジュールを基に制作を進める				

7	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
8	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
9	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
10	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
11	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
12	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
13	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
14	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
15	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める

	シラバス							
				科目の基礎情報①				
:	授業形態	実技	科目名		卒業制作	B I		
:	必修選択	選択	(学則表記)		卒業制作	B I		
			開講			単位数	時間数	
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	30	
,	使用教材	なし			出版社	_	_	
				科目の基礎情報②				
授	業のねらい	2年間の集大成と7	なる作品を制作:	することを通し、これまでに	に学んだ知識や技	術を実践すること:	ができる。	
到達目標・スケジュールの			だことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる 管理を行うことが出来る 、質の高い作品を制作することが出来る					
İ	評価基準	提出物・制作物:	40% 中間発表	長:30% 授業態度:30%				
į	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者							
	関連資格							
	関連科目							
	備考	原則、この科目は	目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。					
;	担当教員	青木 顕子			実務経験			
:	実務内容							
				6	習熟状況等によ	り授業の展開が変わ	わることがあります	
回数	È	 単元		各回の展開	 内容			
	オリエンテーシ		制作にあたって必要な準備を実施する					
2	テーマ設定		制作テーマ・制作概要の設定					
3	3 テーマ設定		制作テーマ・制作概要の設定					
4	4 テーマ設定		制作テーマ・制作概要の設定					
5	計画策定		制作スケジュー	ール・制作工程の決定				
6	計画策定		制作スケジュー	-ル・制作工程の決定				

7	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
8	素材集め	制作に必要な素材を集める
9	素材集め	制作に必要な素材を集める
10	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
11	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
12	発表準備	中間発表に向けて準備を行う
13	発表準備	中間発表に向けて準備を行う
14	中間発表	現段階での成果を発表する
15	中間発表	現段階での成果を発表する

	シラバス						
				科目の基礎情報①			
	授業形態	実技	科目名		卒業制作	BII	
	必修選択	選択	(学則表記)		卒業制作BII		
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	30
	使用教材	なし			出版社	-	-
				科目の基礎情報②			
授	業のねらい	2年間の集大成と	なる作品を制作:	することを通し、これまでに	こ学んだ知識や技	術を実践することを	ができる。
	到達目標	・スケジュールの	管理を行うこと	. 自らテーマ設定し、テーマ : が出来る :4を制作することが出来る	に沿った作品を制	判作できる	
	評価基準	提出物・制作物:	40% プレ成界	具発表会での発表:30% 授	受業態度:30%		
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上		る者			
	関連資格						
	関連科目						
	備考	原則、この科目は	対面授業形式ま	たは同時双方向型遠隔授業	形式にて実施する	<b>3</b> .	
;	担当教員	青木 顕子	実務経験				
	実務内容						
					習熟状況等によ	り授業の展開が変わ	つることがあります
		<b>各回の展開</b> 内容					
1 振り返りと修正		中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する					
2 振り返りと修正		中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する					
3 振り返りと修正		中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する					
4	作品制作		修正後のスケジュールを基に制作を進める				
5	作品制作		修正後のスケジュールを基に制作を進める				
6	作品制作		修正後のスケジュールを基に制作を進める				

7	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
8	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
9	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
10	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
11	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
12	プレ成果発表会の実施	本番を想定しリハーサルを実施する
13	プレ成果発表会の実施	本番を想定しリハーサルを実施する
14	成果発表会に向けての準備	リハーサルを踏まえ修正を行う
15	成果発表会に向けての準備	リハーサルを踏まえ修正を行う

	シラバス						
				科目の基礎情報①			
	授業形態	講義	科目名		卒業制作	CI	
	必修選択	選択	(学則表記)		卒業制作CI		
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	15
	使用教材	なし			出版社	-	_
	科目の基礎情報②						
授業のねらい 2年間の集大成となる作品を制作することを通し、これまでに学んだ知識や技術を実践することができる。				ができる。			
・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる 到達目標 ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る				制作できる			
	評価基準	提出物・制作物:	60% 授業態度	₹:40%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上		うる者			
	関連資格						
	関連科目						
	備考	原則、この科目は	対面授業形式ま	たは同時双方向型遠隔授業	形式にて実施す	3.	
	担当教員	青木 顕子			実務	务経験	
	実務内容						
					習熟状況等によ	り授業の展開が変わ	わることがあります
回数	į.	 単元		各回の展開	 内容		
					八台		
1	1 オリエンテーション		授業の目的、概要説明				
2	2 制作・発表準備		成果発表会に向けて準備を行う				
3	3 制作・発表準備		成果発表会に向けて準備を行う				
4	4 制作・発表準備		成果発表会に向けて準備を行う				
5	制作・発表準備		成果発表会に向	可けて準備を行う			
6	制作・発表準備	Light State of the Control of the Co	成果発表会に向	可けて準備を行う			

7	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
8	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
9	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
10	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
11	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
12	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
13	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
14	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
15	まとめ	作品の提出及び振り返りを行う

	シラバス							
	科目の基礎情報①							
	授業形態	実技	科目名		卒業制作CII			
	必修選択	必修	(学則表記)		卒業制作CII			
			開講			単位数	時間数	
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	30	
	使用教材	なし			出版社	_	-	
				科目の基礎情報②				
授	業のねらい	2年間の集大成と	なる作品を制作	することを通し、これまでに	こ学んだ知識や技	術を実践することが	ができる。	
	到達目標	・スケジュールの	)管理を行うこと	,自らテーマ設定し、テーマ :が出来る :品を制作することが出来る	に沿った作品を制	削作できる		
	評価基準	提出物・制作物:40% 成果発表会での発表:30% 授業態度:30%						
	認定条件		席が総時間数の3分の2以上ある者 績評価が2以上の者					
	関連資格							
	関連科目							
	備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。						
	担当教員	青木 顕子			実務	経験		
	実務内容							
					習熟状況等によ	り授業の展開が変ね	つることがあります	
回数	È	 単元		各回の展開	 内容			
	オリエンテーシ		授業の目的、概		171			
2	作品制作		スケジュールに基づき制作を進める					
3	3 作品制作		スケジュールに基づき制作を進める					
4 作品制作		スケジュールに	ケジュールに基づき制作を進める					
5	5 作品制作		スケジュールに	レに基づき制作を進める 				
6	6 作品制作		スケジュールに	ールに基づき制作を進める				

7	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
8	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
9	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
10	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
11	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
12	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
13	成果発表会	成果発表会を実施する
14	成果発表会	成果発表会を実施する
15	まとめ	作品の提出および振り返り

#### シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 資格対策Ⅲ 講義 科目名 必修選択 選択 (学則表記) 資格対策Ⅲ 開講 単位数 時間数 年次 WEBデザイン・IT科 2 2年 学科 30 ①令和06年 イメージ&クレバー方式でよくわかる かやの き先生のITパスポート教室 使用教材 技術評論社 出版社 ②令和06年 かやのき先生のITパスポート教室準拠 書き込み 式ドリル 科目の基礎情報② ITパスポートの合格を目指すと同時に情報処理の基本知識を「浅く広く」学び、職業人が共通に備えておくべき情 授業のねらい 報技術に関する基礎的な知識を習得する。 到達目標 IITパスポートの資格取得に向けて、過去問題を解く対策をする前段階として、基本的な知識を身につける。 評価基準 テスト50%、提出物20%、授業態度30% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 ITパスポート 資格対策FⅡ 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 永野 実務経験 実務内容

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 第1章 ハードウェア	ITパスポート試験概要、授業内容の説明 情報に関する理論、コンピュータの構成とCPU、主記憶と補助記憶、半導体メモリ、入出力			
2	第1章 ハードウェア	確率と統計、基数変換			
3	第2章 ソフトウェア	ソフトウェア、ファイル管理、ファイルのバックアップ、ユーザインタフェース、マルチメディア、表計算			
4	第3章 システム構成	コンピュータの形態、システム構成、システムの信頼性、システムの評価			
5	第4章 ネットワーク	ネットワークの構成、無線LAN、通信プロトコル			
6	第4章 ネットワーク	インターネットの仕組み、通信サービス、Webページ、電子メール			

7	第5章 セキュリティ	情報資産と脅威、サイバー攻撃、情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント、利用者認証
8	第5章 セキュリティ	ネットワークセキュリティ、暗号化技術、デジタル署名と認証局
9	第6章 データベース	データベースとデータ操作、データベース設計、データの正規化、データの抽出と論理演算、データの整列と集計、トランザクション処理
10	第7章 アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムとデータ構造、疑似言語、プログラム言語とマークアップ言語
11	第8章 マネジメント	企画・要件定義と調達、システム開発、テスト手法と運用・保守、ソフトウェア開発手法、プロジェクトマネジメント
12	第8章 マネジメント	工程管理、ITサービスマネジメント、システム監査
13	第9章 企業活動と法務	財務諸表、損益分岐点と資産管理、知的財産権、セキュリティ関連法規、労働関連法規・取引関連法規、業務分析、 データ利活用と問題解決、標準化
14	まとめ	まとめ
15	第10章 経営戦略とシステム戦略	企業活動、企業統治と内部統制、経営戦略、情報システム戦略と業務プロセス、マーケティング戦略、AI 等

	シラバス							
	科目の基礎情報①							
:	授業形態	講義	科目名		資格対策Ⅳ			
	必修選択	選択	(学則表記)		資格対策IV			
			開講			単位数	時間数	
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	2	30	
	使用教材	なし		科目の基礎情報②	出版社	なし		
120	W - 1	/2 l e l e l e						
授	業のねらい	個人のポートフォ	・リオサイトを企	と画・制作し、完成した作品	のプレゼンテー	·ションを行う。 ————		
:	到達目標			ゴールを目指して作成する )強みを表現するWebサイト				
	評価基準	制作物:60% プレゼンテーション:30% 授業態度:10%						
	認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者						
	関連資格							
	関連科目							
	備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
:	担当教員	青木 顕子			実	務経験		
	実務内容							
					習熟状況等に。	より授業の展開が変れ	つることがあります	
	,	· · ·		各回の展開	<b>+ +</b>			
回数	<u> </u>	単元	WEBサイト企画に	-717	内容			
1	1 オリエンテーション		企画書の作成方法					
2	ポートフォリオサ	イト制作-1	企画の立案、企画	書作成				
3	3 ポートフォリオサイト制作-2		企画の立案、企画書作成					
4 ポートフォリオサイト制作-3		ラフ、ワイヤーフ	ラフ、ワイヤーフレーム、デザイン					
5	ポートフォリオサ	 イト制作-4	ラフ、ワイヤーフ	ーフレーム、デザイン				
6	ポートフォリオサ	イト制作-5	ラフ、ワイヤーフ	レーム、デザイン				

7	中間発表	制作の進捗状況を発表
8	ポートフォリオサイト制作-6	デザイン、コーディング
9	ポートフォリオサイト制作-7	デザイン、コーディング
10	ポートフォリオサイト制作-8	デザイン、コーディング
11	ポートフォリオサイト制作-9	デザイン、コーディング
12	ポートフォリオサイト制作-10	プレゼンテーションの準備
13	ポートフォリオサイト制作-11	プレゼンテーションの準備
14	プレゼンテーション	ポートフォリオサイトの発表
15	総まとめ	授業内容の振り返りを行う

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 キャリアサポートⅢ 講義 科目名 (学則表記) キャリアサポートⅢ 必修選択 選択 開講 単位数 時間数 年次 学科 WEBデザイン・IT科 2 2年 30 使用教材 なし 出版社 科目の基礎情報② ・就職内定獲得に向けての試験対策 授業のねらい ・業界理解、受験までの流れの理解 ・社会人に向けての心構え、前向きなイメージを持つ 就職活動へ行く(身だしなみ・書類・面接・意欲等)ことができる 到達目標 社会人として働くための基本的な心構えができている 評価基準 発表点40%、提出物30%、授業態度30% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 卒業制作AⅠ、卒業制作AⅡ、卒業制作BⅠ、卒業制作BⅡ、卒業制作CⅠ、卒業制作CⅡ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 佐々木 亮太 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	オリエンテーション	・授業のねらいや目的を確認する				
2	就職活動①	・目指す職業を明確にする ・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方を理解する				
3	就職活動②	・目指す職業を明確にする ・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方を理解する				
4	就職活動③	・目指す職業を明確にする ・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方を理解する				
5	就職活動④	・就職活動状況の確認をする ・就職活動の具体的な計画を立てる				
6	就職活動⑤	・就職活動状況の確認をする ・就職活動の具体的な計画を立てる				

7	就職活動⑦	・自身が目指す就職先に応じた自己PRや志望動機を考える
8	就職活動⑧	・自身が目指す就職先に応じた自己PRや志望動機を考える
9	就職活動⑨	・自身が目指す就職先に応じた自己PRや志望動機を考える
10	グループ内発表	・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方をまとめた資料を作成し、発表 ・実際に学生個人が作成した自己PR文や志望動機を発表
11	就職活動⑩	・実際の選考を想定した面接練習を行う為の準備を行う
12	就職活動⑪	・実際の選考を想定した面接練習を行う
13	就職活動⑫	・実際の選考を想定した面接練習を行う
14	就職活動⑬	・実際の選考を想定した面接練習を行う
15	前期振り返り	・学生自身が立てた就職活動の計画に対して、どの程度動くことができているかの確認

				シラバス			
				科目の基礎情報①			
	授業形態	講義	科目名		キャリアサ	ポートIV	
	必修選択	選択	(学則表記)	キャリアサポートIV			
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	15
	使用教材	なし			出版社	-	_
		1		科目の基礎情報②			
授	業のねらい	・業界理解、受験	こ向けての試験対 険までの流れの理 ての心構え、前向				
	到達目標		•	∦類・面接・意欲等)ことか ☆心構えができている	べきる		
	評価基準	発表点40%、提	出物30%、授業創	態度30%			
	認定条件	・出席が総時間数・成績評価が2以	数の3分の2以上 <i>は</i> 以上の者	うる者			
	関連資格						
	関連科目	卒業制作AI、卒	S業制作AⅡ、卒業	業制作BⅠ、卒業制作BⅡ、	卒業制作CI、卒	¤業制作CⅡ	
	備考						
	担当教員	佐々木 亮太			実	務経験	
	実務内容						
				各回の展開	習熟状況等によ	より授業の展開が変	わることがあります
回数		 単元		谷凹の展開			
1	オリエンテーショ		<ul><li>・現時点での就職</li><li>・後期のスケジュ</li></ul>				
2	社会人になる前の	心構え①	・社会人としての心構えを学ぶ				
3	3 社会人になる前の心構え②		・社会人としての	心構えを学ぶ			
4	4 社会人になる前の心構え③		・社会人としての	<b>社会人としての心構えを学ぶ</b>			
5	社会人になる前の	心構え④	・社会人としての	社会人としての心構えを学ぶ			
6	6 社会人になる前の心構え⑤		・社会人としての心構えを学ぶ				

7	卒業展開催に向けて	
8	卒業展開催に向けて	
9	卒業展開催に向けて	
10	卒業展開催に向けて	・卒業展開催に向けた準備を行います
11	卒業展開催に向けて	・運営準備についてはクラス内にグループを作り、グループ内での話し合いを基に行事を作り上げていきます
12	卒業展開催に向けて	
13	卒業展開催に向けて	
14	卒業展開催に向けて	
15	総まとめ	・2年間の振り返りを行う

			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		システム	段計	
必修選択	選択	(学則表記)		システム	設計	
		開講	4.0		単位数	時間数
年次 年次 使用教材	2年 Webディレクシ	学科 コンの新・標準ル	WEBデザイン 		1 エムディエヌコーオ	15 ポレーション
			科目の基礎情報②			
			科日の基礎情報と			
授業のねらい			らプロジェクトマネジメ プロデューサー/ディレ			要件定義、企画
到達目標	・Webディレクション業務の環境や現場に合わせた進行管理を理解する。 ・企画立案、構造設計、コンテンツ設計について理解する。 ・企画書/ワイヤーフレーム作成方法を習得する。					
評価基準	テスト:60%、	テスト:60%、提出課題:20%、授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間 ・成績評価が2	数の3分の2以上 以上の者	ある者			
関連資格	なし					
関連科目	なし					
備考						
担当教員	青木 顕子			実	務経験	
実務内容						
				習熟状況等によ	より授業の展開が変材	つることがありる
W	w-		各回の展開	1.0		
オリエンテーシ	単元ョン	授業の目的、到達	目標など、Webディレクション:	<u>内容</u> 基礎知識とは		
2 Webディレクション基礎①		Web制作におけるトレンドと新技術、プロジェクトの工程管理を学ぶ				

Webサイトの代表的なパターンと目的、社内ディレクターの役割を学ぶ

ヒアリング方法、企画の発想法とアイデアを練るテクニックを学ぶ

事業者と業務委託会社の担当範囲、個人情報保護について

3

4

5

Webディレクション基礎②

Webディレクション基礎③

Webサイト企画①

6	Webサイト企画②	UXについて学ぶ
7	Webサイト企画③	提案書、要件定義について学ぶ
8	Webサイト企画④、小テスト	工数の計算、概算見積りの作成と工程変更への対応、小テスト
9	企画立案①	クライアントワークを想定してWebサイトの企画書作成、提出
10	Webサイト設計①	設計フェーズにおけるワークフロー、メンバーの意識を高めるチーム作りを学ぶ
11	Webサイト設計②	タスクの構造化とスケジュール、フロー図について
12	Webサイト設計③	ワイヤーフレーム、コピーライティングの方法を学ぶ
13	Webサイト設計④	プロトタイピングツール、デザインガイドラインの策定、SNSについて
14	前期試験	Webディレクション業務の基礎、プロジェクトマネジメント、Webサイトの企画・設計から出題
15	前期振り返り	試験回答返却・解説

	シノラノギフ						
				シラバス			
	1-5 All - 1-7 Al-5	=11 74		科目の基礎情報① 	> = 1	-m=1	
	授業形態	講義	科目名		システム		
	必修選択	選択	(学則表記)		システム	、設計 II	
		T	開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	WEBデザイン・	IT科	1	15
	使用教材	Webディレクショ	ョンの新・標準ルール 改訂第3版 出版社 エムディエヌコーポレーション			ポレーション	
		1		科目の基礎情報②			
授	業のねらい			からプロジェクトマネジメン bプロデューサー/ディレク			や要件定義、企画立
	到達目標	・Webディレクション業務の環境や現場に合わせた進行管理を理解する。 ・企画立案、構造設計、コンテンツ設計について理解する。 ・企画書/ワイヤーフレーム作成方法を習得する。					
	評価基準	テスト:60%、提	出課題:20%、	授業態度:20%			
	認定条件	・出席が総時間数・成績評価が2り		上ある者			
	関連資格	なし					
	関連科目	なし					
	備考						
	担当教員	青木 顕子			身	<b>ミ務経験</b>	
	実務内容						
					習熟状況等に	より授業の展開が変	わることがあります
		W ==		各回の展開	th sta		
回数		単元			内容		
1	1 Webサイト設計⑤		システム設計、SEO設計、Web制作のフレームワークとは				
2	2 Webサイト設計(6)		CMS、ECカート、MAツールについて学ぶ				
3	3 Webサイト設計⑦		クラウドサービス、開発環境、Webサイトにおけるテスト設計とは				
4	設計立案①		前期の企画立案①②で作成した企画書に基づいてワイヤーフレームの作成				
5	設計立案②、課題	提出	前期の企画立案①②で作成した企画書に基づいてワイヤーフレームの作成、提出				

6	制作マネジメント①	コミュニケーション、スケジュールの管理、制作マニュアルについて学ぶ
7	制作マネジメント②	リモート環境でのデータ管理ツール、進捗管理について
8	制作マネジメント③	プロジェクト内容の確認や現場の状況変化に合わせた対応を学ぶ
9	制作マネジメント④、小テスト	テストを効率化するツール、Webサイトの公開、小テスト
10	Webサイトの運用①	社内マネジメント、ヒューマンエラーについて学ぶ
11	Webサイトの運用②	ノーコードツール、企業SNS運用、動画マーケティングについて学ぶ
12	Webサイトの運用③	PDCAサイクル、Web解析ツール、Googleの解析ツールについて
13	Webサイトの運用④	問題課題、リニューアル、制作会社の移管について
14	前期試験	Webサイトの企画・設計、制作マネジメント、Webサイトの運用から出題
15	前期振り返り	試験回答返却・解説

### シラバス 科目の基礎情報① プロジェクトマネジメントー 授業形態 講義 科目名 プロジェクトマネジメントー 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 15 プロジェクトマネジメントの基本が全部わかる本 使用教材 出版社 翔泳社 科目の基礎情報② 授業のねらい プロジェクトマネジメントの基本的な知識を習得し実践できるようになる プロジェクトマネジメントを実践できるようになるを理解する。 到達目標 プロジェクト・マネージャーの役割および作業手順を理解する。 評価基準 テスト:20% 授業態度:40% 実演:40% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 PMP®(プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル) 資格 関連資格 関連科目 プロジェクトマネジメントⅡ 備考 原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。 担当教員 屋敷 由紀代 実務経験 0 システム会社(ビジネスブレーン)にてSEとして9年勤務 実務内容 介護福祉会社(ビオネスト)のシステム部にて社内SEとして5年勤務 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 プロジェクトマネジメントとはなにか プロジェクトの特性や成功、リスク。プロジェクトマネジメントの役割 1 交渉 交渉がなぜ必要かを理解 2 タスクマネジメント タスクマネジメントの考え方、プロジェクトを効率的に進める手順 プロジェクト計画 プロジェクトの方向性、計画の立て方、QCDの考え方 4 5 見積り 見積りの考え方、概算見積りと詳細見積りの使い分け 6 契約 プロジェクトに合った契約、リスク、発生しやすいトラブルとその対処法

7	要件定義	要件定義の進め方、ビジネス要件とシステム要件のとりまとめ方
8	デザイン	ベルソナ設計、ビジュアル・アイデンティティ設計の注意点
9	設計	設計の考え方と進め方
10	総まとめ	適切なテストの考え方と進め方
11	リリース	リリース計画の考え方と進め方、作成方法、トラブルを想定した計画と体制の立て方
12	保守改善	プロジェクトの費用対効果の判断基準と売り上げの考え方
13	テスト	交渉から保守改善までの基本的な知識が理解できているかテストを行う
14	プロジェクトの実演	仮想のプロジェクトを設けグループワークを行う
15	振り返り	テストやシミュレーションの振り返り

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 プロジェクトマネジメントⅡ 講義 科目名 プロジェクトマネジメントⅡ 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 15 図解即戦力 PMBOK第6版の知識と手法がこれ1冊でしっか 使用教材 出版社 技術評論社 りわかる教科書 科目の基礎情報② 授業のねらい プロジェクトマネジメントの基本的な知識を習得し実践できるようになる プロジェクトマネジメントを実践できるようになるを理解する。 到達目標 PMBOKの基礎を学習し、よりプロフェッショナルな知識をつける。 評価基準 テスト:20% 授業態度:40% 実演:40% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 PMP®(プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル) 資格 関連科目 プロジェクトマネジメントー 備考 原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。 担当教員 実務経験 屋敷 由紀代 システム会社(ビジネスブレーン)にてSEとして9年勤務 実務内容 介護福祉会社(ビオネスト)のシステム部にて社内SEとして5年勤務 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	プロジェクトの基本	プロジェクトの種類、構成要素、プロジェクトに関する事項について	
2	PMBOKの基本	PMBOK Guideに沿ったプロジェクトマネジメントに必要な基本事項について	
3	10の知識エリア	各知識エリアに含まれたプロセスの役割について	
4	プロジェクトの立ち上げ	プロジェクト憲章、ステークホルダー登録簿について	
5	プロジェクトの計画①	要求事項の収集からアクティビティ定義、プロジェクトスケジュール設定、コストベースライン設定について	
6	プロジェクトの計画②	リスクについて、リスクマネジメント活動・特定・分析・対応方法について	

7	プロジェクトの計画③	調達の計画、プロジェクトマネジメント計画書の設定、キックオフ会議について
8	プロジェクトの実行	プロジェクト作業の進行、作業プロセスの確認、プロジェクトチームのマネジメント、納入者と契約を締結について
9	プロジェクトの監視・コントロール	予実の分析、提案された変更要求の審議、新しいリスクの特定と対応策の検討、コントロールプロセス群との関連性に ついて
10	プロジェクトの終結	終結時に行うことについて
11	PMBOK第6版での主な変更点	各フェーズの変更点について
12	総まとめ	基本的な知識が理解できているかテストを行う
13	プロジェクトの実演①	仮想のプロジェクトを設けグループワークを行う
14	プロジェクトの実演②	仮想のプロジェクトを設けグループワークを行う
15	総まとめ・実演の振り返り	テストとグループワークの振り返りと質疑応答

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 社会人基礎力Ⅲ 講義 科目名 社会人基礎力Ⅲ 必修選択 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 WEBデザイン・IT科 2 2年 学科 30 1日1トレで「声」も「話し方」も感動的に良くなる 使用教材 出版社 日本実業出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい ビジネスの場における良好な対人関係・環境を構築する力を身につける。 「話す」「聞く」といったコミュニケーションに関わる重要な要素を理解して、良好な人間関係を築くためのコ 到達目標 ミュニケーションを取ることができる。 評価基準 期末テスト;30% ロールプレイ・発表:30% 小テスト:20% 授業態度:20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 豊田 恭子 実務経験 $\bigcirc$ 化粧品メーカーにてドラッグストア向けの商品ディスプレイ作成等に従事 実務内容 一般企業で役員秘書として8年従事(主に来客対応・会議資料作成・スケジューリングなど) 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標について	
2	コミュニケーションについて	気軽に話せる・声を出せる「マインド」を作る	
3	第一印象	第一印象の重要性について	
4	伝わる声①	挨拶をする時の声の出し方について 笑顔の重要性について	
5	伝わる声②	聞き取りやすい声について	
6	伝わる声③	語尾まではっきり話す重要性について 滑舌について	

7	伝わる声④	抑揚と声の質について
8	分かりやすい話し方①	シンプルな文章について
9	分かりやすい話し方②	間の取り方について
10	話の組み立て方①	前提条件を揃えること、話のテーマを伝えることの重要性について
11	話の組み立て方②	主語について
12	会話①	会話を続けるためのポイントについて
13	会話②	表現の幅を広げるポイントについて
14	期末総まとめ	期末テストの実施
15	総まとめ	期末テストの振り返りと総まとめ

### シラバス 科目の基礎情報① 社会人基礎力IV 授業形態 講義 科目名 社会人基礎力IV 必修選択 選択 (学則表記) 単位数 開講 時間数 WEBデザイン・IT科 2 年次 2年 学科 30 1日1トレで「声」も「話し方」も感動的に良くなる 使用教材 出版社 日本実業出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい ビジネスの場における良好な対人関係・環境を構築する力を身につける。 「話す」「聞く」といったコミュニケーションに関わる重要な要素を理解して、良好な人間関係を築くための 到達目標 コミュニケーションを取ることができる。 評価基準 期末テスト:30% ロールプレイ・発表:30% 小テスト:20% 授業態度:20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 豊田 恭子 担当教員 実務経験 $\bigcirc$ 化粧品メーカーにてドラッグストア向けの商品ディスプレイ作成等に従事 実務内容 一般企業で役員秘書として8年従事(主に来客対応・会議資料作成・スケジューリングなど) 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 内容 回数 単元 オリエンテーション 授業の流れ・到達目標について 1 前期の復習 前期の復習 論理的な伝え方① 分かりやすい話し方について

 回数
 単元
 内容

 1
 オリエンテーション 前期の復習
 授業の流れ・到達目標について 前期の復習

 2
 論理的な伝え方①
 分かりやすい話し方について

 3
 論理的な伝え方②
 説得力のある話し方について

 4
 簡潔な話し方
 簡潔な話し方について

 5
 印象が良くなる話し方①
 語尾の重要性について

 6
 印象が良くなる話し方②
 早口が相手に与える印象について

7	印象が良くなる話し方③	話の終わり方について
8	印象が良くなる話し方④	肯定的な話し方について
9	好感を持たれる聴き方	あいづちについて
10	話の魅せ方①	姿勢について
11	話の魅せ方②	アイコンタクトについて
12	話の魅せ方③	自分の癖を把握することの重要性について
13	話の魅せ方④	表情管理について
14	期末総まとめ	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 総合演習AI 演習 科目名 総合演習AI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 ・技術評論社 使用教材 ・デザインの学校これからはじめるAfter Effectsの本 出版社 ・ソシム 科目の基礎情報② 授業のねらい Adobe After Effectsの基本操作を学び、簡単な動画作成の技術を身につける。 After Effectsの基本操作を習得する 到達目標 動画制作の基本を身に付ける 簡単な動画の制作ができる 評価基準 小テスト:40% 提出物:60% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 備考 担当教員 永井 美幸 実務経験 実務内容

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

		各回の展開
回数	単元	内容
1	Chapter 1 After Effectsを使う準備	起動と終了、画面を知る、パネルの操作、素材の読み込み、専門用語を知る
2	Chapter 1の復習と小テスト	Chapter 1の操作の復習と小テスト
3	Chapter 2 背景を作る①	タイムラインパネルの操作、キーフレームアニメーション
4	背景を作る②	エフェクトを掛ける
5	Chapter 2の復習と小テスト	Chapter 2の操作の復習と小テスト
6	Chapter 3 タイトルを作る①	テキストレイヤーの配置、文字の入力

7	タイトルを作る②	文字をアニメーションさせる
8	Chapter 3の復習と小テスト	Chapter 3の操作の復習と小テスト
9	演習課題①	学んだ技術で課題の制作演習①
10	演習課題②	演習課題の続き②
11	演習課題③	演習課題の続き③
12	演習課題④	演習課題の続き④
13	演習課題⑤	演習課題の続き⑤
14	演習課題⑥	演習課題の続き⑥、課題の提出
15	合評	演習課題の合評と総まとめ

### シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 総合演習AII 演習 科目名 総合演習AII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 · 技術評論社 使用教材 ・デザインの学校これからはじめるAfter Effectsの本 出版社 ・ソシム 科目の基礎情報② 授業のねらい After Effectsの高度な映像表現が出来るスキルを身に付ける。 Web用やSNS用の動画広告の編集が出来るようになる。 到達目標 ポートフォリオサイトに掲載できるような動画作品が作れるようになる。 評価基準 小テスト:40%、提出物:60% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 永井 美幸 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 Chapter 1 平面レイヤー、素材の読み込み、テキストの入力、キーフレームアニメーション 1 基本操作の復習 Chapter 1の復習 Chapter 1-Section 4の復習と小テスト Chapter 2キーフレームアニメーション Chapter 2キーフレームアニメーション(位置) Chapter 2キーフレームアニメーション Chapter 2キーフレームアニメーション(スケール、回転、不透明度) Chapter 2キーフレームアニメーション キーフレームアニメの復習と小テスト 4 の復習 Chapter 2イージング Chapter 2-Section 4イージング 5 イージングの復習 イージングの復習と小テスト

Chapter3-Section 1マスクで隠す・切り抜く

Chapter3-Section 1マスク

7	マスクの復習	マスクの復習と小テスト
8		Chapter 3-Section 2シェイプでグラフィックを作成する シェイプの復習と小テスト
9	演習課題①	学んだ技術で課題の制作演習①
10	演習課題②	演習課題の続き②
11	演習課題③	演習課題の続き③
12	演習課題④	演習課題の続き④
13	演習課題⑤	演習課題の続き⑤
14	演習課題⑥	演習課題の続き⑥、課題の提出
15	合評	演習課題の合評と総まとめ

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 総合演習BI 演習 科目名 総合演習BI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 学科 WEBデザイン・IT科 年次 2年 1 30 · 技術評論社 使用教材 ・デザインの学校これからはじめるAfter Effectsの本 出版社 ・ソシム 科目の基礎情報② 授業のねらい 総合演習AIの科目より少し進んだ基本操作を学び、簡単な動画作成の技術を身につける。 After Effectsの基本操作を習得する 到達目標 動画制作の基本を身に付ける 簡単な動画の制作ができる 評価基準 テスト:40% 小テスト:30% 提出物:30% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 永井 美幸 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 Chapter 4 背景画像を配置、テキストレイヤーの配置、テキストの入力と設定 1 テロップを作る① テロップを作る② 図形を配置、テロップをアニメーションさせる テロップを作る③ Chapter 4の操作の反復練習

Chapter 4の操作の復習と小テスト①

画像を配置、平面レイヤーを配置、テキストレイヤーを配置、テキストの入力

テキストの設定、テキストをアニメーションさせる、エフェクトで調整

Chapter 4の復習

場面転換を作る①

場面転換を作る②

Chapter 5

4

5

6

7	場面転換を作る③	Chapter 5の操作の反復練習
8	Chapter 5の復習	Chapter 5の操作の復習と小テスト
9	演習課題①	学んだ技術で課題の制作演習①
10	演習課題②	演習課題の続き②
11	演習課題③	演習課題の続き③
12	演習課題④	演習課題の続き④
13	演習課題⑤	演習課題の続き⑤
14	演習課題⑥	演習課題の続き⑥、課題の提出
15	合評	演習課題の合評と総まとめ

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 総合演習BII 必修選択 選択 (学則表記) 総合演習BII 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 · 技術評論社 ・デザインの学校これからはじめるAfter Effectsの本 使用教材 出版社 ・ソシム 科目の基礎情報② 授業のねらい After Effectsの高度な映像表現が出来るスキルを身に付ける。 Web用やSNS用の動画広告の編集が出来るようになる。 到達目標 ポートフォリオサイトに掲載できるような動画作品が作れるようになる。 評価基準 小テスト:40%、提出物:60% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 永井 美幸 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 内容 回数 単元 Chapter 3 - Section 3 親子とヌルで動き 親子関係、親子の設定、親子の使い方例、ヌルオブジェクトとは、ヌルの使い方例 1 を連動させる Chapter 3 - Section 3の復習 Chapter 3-Section 3の復習と小テスト Chapter 3 - Section 4~7 文字、型抜 3 文字ツール、トラックマットで型抜き、テクスチャーで質感を合成する、パペットツールで変形アニメーション

Chapter 3-Section 4~7 の復習と小テスト

音声データの扱い方、音声の編集方法、音量、動画の書き出し、レンダリング

明るさ・色調の調整(トーンカーブ、レベル補正、色相/彩度)

Chapter 3-Section 8~9とChapter 4 - Section 1 ~ 3 の復習と小テスト

き、質感、変形

Section 3の復習

4

5

Chapter 3 - Section 4~7 の復習

Chapter 3 - Section 8  $\sim$  Chapter 4 -

Section 3 音声、書き出し、色編集

Chapter3 - Section 8  $\sim$  Chapter 4 -

7	Chapter 4 - Section 4 ~ Chapter 5 - Section 3 色調、エフェクト	トライトーンで色調を作成する、塗りエフェクト、描画モード よく使うエフェクト(ドロップシャドウ、ブラー、クロマキー合成)
8	Chapter4 - Section 4 ~ Chapter 5 - Section 3の復習	Chapter 4-Section 4~6とChapter 5 - Section 1~3 の復習と小テスト
9	演習課題①	学んだ技術で課題の制作演習①
10	演習課題②	演習課題の続き②
11	演習課題③	演習課題の続き③
12	演習課題④	演習課題の続き④
13	演習課題⑤	演習課題の続き⑤
14	演習課題⑥	演習課題の続き⑥、課題の提出
15	合評	演習課題の合評と総まとめ

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 総合演習CI 演習 科目名 総合演習CI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 学科 WEBデザイン・IT科 年次 2年 1 30 · 技術評論社 使用教材 ・デザインの学校これからはじめるAfter Effectsの本 出版社 ・ソシム 科目の基礎情報② 授業のねらい 総合演習BIの科目より更に進んだ基本操作を学び、簡単な動画作成の技術を身につける。 After Effectsの基本操作を習得する 到達目標 動画制作の基本を身に付ける 簡単な動画の制作ができる 評価基準 テスト:40% 小テスト:30% 提出物:30% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 永井 美幸 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 Chapter 6 カメラを配置、3Dレイヤーの配置、文字と図形をレイアウト 1 立体的なアニメーションを作る① 立体的なアニメーションを作る② 文字と図形をレイアウト、カメラワーク 立体的なアニメーションを作る③ Chapter 6の操作の反復練習 Chapter 6の操作の復習と小テスト① 4 Chapter 6の復習① Chapter 6の復習② Chapter 6の操作の復習と小テスト②

コンポジションを配置、レンダリング

Chapter 7

動画を書き出す①

7	動画を書き出す②	Chapter 7の操作の反復練習
8	Chapter 7の復習	Chapter 7の操作の復習と小テスト
9	演習課題①	学んだ技術で課題の制作演習①
10	演習課題②	演習課題の続き②
11	演習課題③	演習課題の続き③
12	演習課題④	演習課題の続き④
13	演習課題⑤	演習課題の続き⑤
14	演習課題⑥	演習課題の続き⑥、課題の提出
15	合評	演習課題の合評と総まとめ

# シラバス 科目の基礎情報① 総合演習CII 授業形態 演習 科目名 総合演習CII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 · 技術評論社 使用教材 ・デザインの学校これからはじめるAfter Effectsの本 出版社 ・ソシム 科目の基礎情報② 授業のねらい After Effectsの高度な映像表現が出来るスキルを身に付ける。 Web用やSNS用の動画広告の編集が出来るようになる。 到達目標 ポートフォリオサイトに掲載できるような動画作品が作れるようになる。 評価基準 小テスト:40%、提出物:60% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 永井 美幸 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 内容 回数 単元 Chapter 5 - Section 4 $\sim$ 6 ロトブラシを使った切り抜き、フラクタルノイズで模様を作成する 1 ロトブラシ、フラクタルノイズ

# 回数単元内容1Chapter 5 - Section 4 ~ 6<br/>ロトプラシ、フラクタルノイズロトプラシを使った切り抜き、フラクタルノイズで模様を作成する2Chapter 5 - Section 4 ~ 6の復習Chapter 5 - Section 4 ~ 6の復習と小テスト3Chapter 5 - Section 7 ~ 10 形状を歪ませる、繰り返し配置、番外編1、2ターピュレントディスプレイス、モーションタイル、調整レイヤー、(カードダンス、Particle World)4Chapter 5 - Section 7 ~ 10 の復習Chapter 5 - Section 7 ~ 10 の復習と小テスト5Chapter 6 - Section 1 ~ 4 3Dレイヤー、3Dカメラ、ライト2Dと3D、3Dレイヤーのトランスフォーム、3Dカメラアニメーション、ライトで光と影をつくる6Chapter 6 - Section 1 ~ 4 の復習Chapter 6 - Section 1 ~ 4 の復習と小テスト

7	Chapter 6 - Section 5~ 7 3Dテキスト、3Dシェイプ、モーションを合成	押し出し3Dテキスト、押し出し3Dシェイプ、動画にモーションを合成する
8	Chapter 6 - Section 5~ 7 の復習	Chapter 6 - Section 5~ 7 の復習と小テスト
9	演習課題①	学んだ技術で課題の制作演習①
10	演習課題②	演習課題の続き②
11	演習課題③	演習課題の続き③
12	演習課題④	演習課題の続き④
13	演習課題⑤	演習課題の続き⑤
14	演習課題⑥	演習課題の続き⑥、課題の提出
15	合評	演習課題の合評と総まとめ

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 総合演習DI 演習 科目名 総合演習DI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 使用教材 よくわかるマスター MOS Excel Expert 出版社 FOM出版 科目の基礎情報② 授業のねらい PC基礎演習で身に着けた知識をもとに、ExcelのMOSExpertの実践的な資格対策を行う。 到達目標 EXCELのMOSエキスパートの取得を目指す。Excelの高度な知識を身に着ける。 評価基準 テスト50% 課題20% 平常点30% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 MOS Excel Expert 関連科目 総合演習EI、総合演習DII 備考 担当教員 大西 田鶴子 実務経験 $\bigcirc$ 実務内容 SEとして業務用パソコンのシステム制作、ホームページ制作、業務管理システム制作などに20年以上従事 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 出題範囲 1	授業内容の説明を行う。 $1-1$ ブックを管理する。 $1-2$ 共同作業のためのブックを準備する。 $1-3$ 言語をオプションの設定する。 $1$ -確認問題( $P51$ )
2	出題範囲 2 ①	2-1既存のデータを使用してセルに入力する。 2-2データに表示形式や入力規則を適用する。
3	出題範囲 2 ②	2-3詳細な条件付き書式やフィルターを適応する。 2-確認問題(P93)
4	出題範囲 3 ①	3-1関数で論理演算を行う。 ネスト、AND、OR、NOT、〇〇IF、〇〇IFS
5	出題範囲3 ②	3-2関数を利用してデータを検索する。 VLOOKUP、HLOOKUP、MATCH、INDEX
6	出題範囲3 ③	3-3高度な日時と時刻の関数を使用する。 3-4でデータ分析を行う。

7	出題範囲 3 ④	3-5数式のトラブルシューティングを行う。 3-6簡単なマクロを作成する、記録する。 3-確認問題
8	出題範囲4 ①	4-1高度な機能を使用したグラフを作成する、変更する。
9	出題範囲4 ②	4-2ピポットテーブルを作成する、変更する。
10	出題範囲4 ③	4-3ピポットグラフを作成する、変更する。
11	模擬試験①	模擬試験プログラム1の説明
12	模擬試験②	模擬試験プログラム1の振り返り
13	模擬試験③	模擬試験プログラム1のテスト
14	模擬試験④	模擬試験プログラム2の説明
15	模擬試験⑤	模擬試験プログラム2の振り返り

### シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 総合演習DII 演習 科目名 総合演習DII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 WEBデザイン・IT科 2年 学科 1 30 できる イラストで学ぶ 入社1年目からのExcel VBA (できる 使用教材 インプレス 出版社 イラストで学ぶシリーズ) 科目の基礎情報② 授業のねらい VBAを活用し、効率的な業務を行う方法を学ぶ ・基本的なVBAのコードを読み理解することができる。 到達目標 ・業務に生かせるコードを書けるようになる。 評価基準 テスト:50% 課題:20% 平常点:30% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 総合演習EI、総合演習DI 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 備考 成績評価が2以上の者 担当教員 大西 田鶴子 実務経験 $\bigcirc$ 実務内容 SEとして業務用パソコンのシステム制作、ホームページ制作、業務管理システム制作などに20年以上従事 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	オリエンテーション 第1章 はじめてのマクロ作り①	授業の内容の説明、VBAをとは	
2	第1章 はじめてのマクロ作り②	マクロの作成準備とエラーへの対処	
3	第2章 オブジェクトとプロバティ①	オプジェクトの操作、データのクリアと転機	
4	第2章 オブジェクトとプロパティ②	プロパティとメゾット、シート名の設定と並べ替え	
5	第3章 変数を使った計算	変数と関数の使用、割合計算と入力データの整形	
6	第4章 条件で処理を切り替える	IF使った条件分岐、回答に応じてた処理の切り替えと会員ランク分け	

7	第5章 オブジェクトの取得①	オブジェクト取得の基本と記述の簡略化、単票から台帳への転記と処理の効率化
8	第5章 オブジェクトの取得②	臨機応変にセルを取得する、台帳の新しい行に自動転記
9	第6章 処理を繰り返す	決まった回数だけ繰り返す、条件によって繰り返す、3行ごとの太字設定と会員入納状況のチェック
10	第7章 データをまとめるマクロ①	指定したフォルダーからブックを開く・全てのブックを順に開く、全支店のブックを順に開く
11	第7章 データをまとめるマクロ②	指定したフォルダーの全ブックのデータを統合する
12	第8章 プロパティとメゾット①	データの入力と削除・セルの書式設定・セルの編集に関するプロバティとメゾット
13	第8章 プロパティとメゾット②	抽出と並べ替え・ワークシート操作・ブック操作に関するプロバティとメゾット
14	全体の振り返り①	全体のまとめと振り返り
15	全体の振り返り②	全体のまとめと振り返り

### シラバス 科目の基礎情報① 総合演習EI 授業形態 演習 科目名 総合演習EI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 30時間でマスターExcel、30時間でマスターWord(1年生か 使用教材 出版社 実教出版 らの引継ぎ教材) 科目の基礎情報② 授業のねらい 実務の場面で実際に使われているofficeの機能について学ぶ。 到達目標 PowerPoint、Word、Excelを用いた応用的な操作を学ぶ。 評価基準 テスト:50% 課題:20% 平常点:30% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 MOS Excel Expert 関連科目 P C 基礎演習 A 、 P C 基礎演習 B 、総合演習 D I 備考 担当教員 大两 田鶴子 実務経験 $\bigcirc$ 実務内容 SEとして業務用パソコンのシステム制作、ホームページ制作、業務管理システム制作などに20年以上従事 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 内容 回数 単元 オリエンテーション 授業内容の説明 パワーポイントの基礎(自己紹介の作成) Excelを用いたデータベース処理① オートコンプリート機能、表示形式の設定、ソート Excelを用いたデータベース処理② フィルター、グループ集計、ピポットテーブル IF関数の基礎と応用 IF関数の基礎、AND・OR関数を使った処理、入れ子を用いた処理 4 IF関数の振り返り 5 VLOOKUPの基礎、絶対参照を利用した検索、近似一致を利用した検索 VLOOKUP VLOOKUPの振り返り VLOOKUPの振り返り、HLOOKUP・INDEX関数の基礎 HLOOKUP、INDEX関数

7	検索関数の振り返り 文字列操作関数	LEN、LEFT、RIGHT、MID、VALUE、FIXED、MOD関数
8	文字列操作関数振り返り グラフ作成基礎	文字列操作関数振り返り 縦棒グラフ、横棒グラフ、円グラフ
9	グラフの作成応用	3 Dグラフ、複合グラフ、散布図、いろいろなグラフ
10	データベース関数	DSUM、DAVERAGE、DMAX、DMIN関数
11	データベース関数振り返り 条件付き集計、3D集計	○○IF、○○IFS関数、シートをまたいだ計算
12	全体の振り返り①	授業の内容振り返り
13	全体の振り返り②	授業の内容振り返り
14	差し込み印刷	はがき、レター、ラベルの作成
15	ExcelMOSExpert模擬問題	ExcelのExpertの模擬問題を行う

### シラバス 科目の基礎情報① 総合演習EII 授業形態 演習 科目名 総合演習EII 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 使用教材 Excel2019 ビジネス活用ドリル 出版社 日経BP 科目の基礎情報② 授業のねらい 実際に企業で使われているExcel処理を行い、現場で即戦力になれる力を身に着ける。 到達目標 実践的なExcelの計算、集計、グラフ作成、データベースとしての操作を効率的にできるようなる。 評価基準 テスト:50%、課題:20% 平常点:30% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 総合演習EI、総合演習DI 備考 担当教員 大西 田鶴子 実務経験 $\bigcirc$ 実務内容 SEとして業務用パソコンのシステム制作、ホームページ制作、業務管理システム制作などに20年以上従事 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 内容 回数 単元 オリエンテーション 授業内容の説明 1 第1章計算① 売上日報の作成 支店別売上実績表の作成 第1章計算② 交通費精算所の作成 時間帯別客単価の分析 第1章計算③ 仕入予定表の作成 第1章計算④ 応用問題 月間勤務表の作成 4 在庫棚卸表の作成 第2章集計① 販売期別売上表の作成 売上成績比較(クロス集計) 第2章集計② 6 顧客別売上集計表の作成

7	第2章集計③	全店経費集計表 (シートの統合) 研修会申申込記録
8	第2章集計④	アンケートの集計(クロス集計) 応用問題 店舗別売上日報
9	第3章 グラフ作成	事業別売上高推移(棒グラフ)、商品別問い合わせ件数推移(折れ線グラフ)、社員構成比率(円グラフ)
10	第4章 自動化・マクロ①	受注一覧(自動入力) 発注一覧(自動入力)
11	第4章 自動化・マクロ②	会議室予約表 (マクロの記録/登録) 顧客満足度調査
12	第5章 データベース①	社員名簿の作成 宿泊施設一覧の作成
13	第5章 データベース②	売上台帳の作成
14	全体の振り返り①	1~2章の振り返り
15	全体の振り返り②	3~5章の振り返り

### シラバス 科目の基礎情報① 総合演習FI 授業形態 演習 科目名 総合演習FI 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 MOS ACCESS Expert 365・2019 Expert 対策テキスト& 使用教材 出版社 FOM 出版 問題集 科目の基礎情報② 授業のねらい データベース基礎や他授業で身につけた知識を元に、ACCESSのMOSの実践的な資格対策を行う。 到達目標 ACCESSのMOSを取得できる知識を身に着ける。 評価基準 テスト50% 課題20% 平常点30% 出席が総時間数の3分の2以上あるもの 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 MOS ACCESS Expert 365・2019 Expert 対策テキスト & 問題集 関連科目 データベース基礎 | 、データベース基礎 || 備考 MOS ACCESS Expert 365・2019 Expert 対策テキスト & 問題集 伊藤 敬子 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 内容 回数 単元 オリエンテーション 授業内容の説明 1 出題範囲1① 1-1データベースの構造を変更する。 1-2テーブルのリレーションとキーを管理する 出題範囲1② 1-3データを印刷する、エクスポートする 1-確認問題 2-1テーブルを作成する 2-2テーブルを管理する 出題範囲2① 2-3テーブルのレコードを管理する。 2-4フィールドを作成する、変更する 出題範囲2② 4 2-確認問題 5 出題範囲3① 3-1クエリを作成して実行する

3-2クエリを変更する

3-確認問題

出題範囲3②

6

7	出題範囲4①	4-1フォームのコントロールを設定する
8	出題範囲 4 ②	4-2フォームを書式設定する 4-確認問題
9	出題範囲 5 ①	5-1レポートのコントロールを設定する
10	出題範囲 5 ②	5-2レポートの書式設定する 5-確認問題
11	模擬試験①	模擬試験プログラム1の説明
12	模擬試験②	模擬試験プログラム 1 の振り返り
13	模擬試験③	模擬試験プログラム1のテスト
14	模擬試験④	模擬試験プログラム2の説明
15	模擬試験⑤	模擬試験プログラム 2 の振り返り

# シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 総合演習FII 演習 科目名 総合演習FII 必修選択 選択 (学則表記) 単位数 開講 時間数 WEBデザイン・IT科 年次 2年 学科 1 30 使用教材 令和04-05年 ITパスポート 試験によくでる問題集 出版社 技術評論社 科目の基礎情報② 授業のねらい 資格対策Ⅲや他授業で身につけた知識を元に、ITパスポートの実践的な資格対策を行う。 到達目標 ITパスポートを取得できる知識を身につける。 評価基準 テスト60%、小テスト40% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 ITパスポート 関連科目 資格対策Ⅲ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 永野 兼匠 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 内容 回数 単元 オリエンテーション ITパスポート試験概要、授業内容の説明 第1章 ストラテジ系 企業と法務 第2章 ストラテジ系 経営と戦略 第3章 ストラテジ系 システム戦略 第4章 マネジメント系 開発技術 4 第5章 マネジメント系 5 プロジェクトマネジメント 第6章 マネジメント系 サービスマネジメント

7	第7章 テクノロジ系	基礎理論
8	第8章 テクノロジ系	コンピュータシステム
9	第9章 テクノロジ系	技術要素(前半)
10	第9章 テクノロジ系	技術要素(後半)
11	第10章 テクノロジ系	疑似言語
12	模擬試験	模擬試験
13	全体の振り返り①	授業の内容振り返り
14	全体の振り返り②	授業の内容振り返り
15	全体の振り返り③	授業の内容振り返り